

ウェルおおさか

vol.114 2018.6 隔月発行(偶数月1日)

特集

認知症の人とささえ合うまち

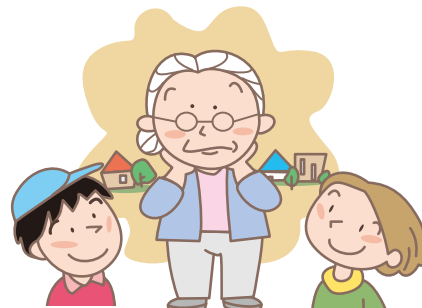
- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内





認知症の人とささえ合うまち

65歳以上の高齢者の約7人に1人が認知症と推計され、今後も増えていくことが予想されます。認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちを実現するには、行政だけでなく、企業や地域などの理解や協力が欠かせません。今回は、大阪市の認知症施策、そして民間の介護事業所や地域活動の新たな取り組みを通して「認知症の人とささえ合うまち」について考えてみたいと思います。



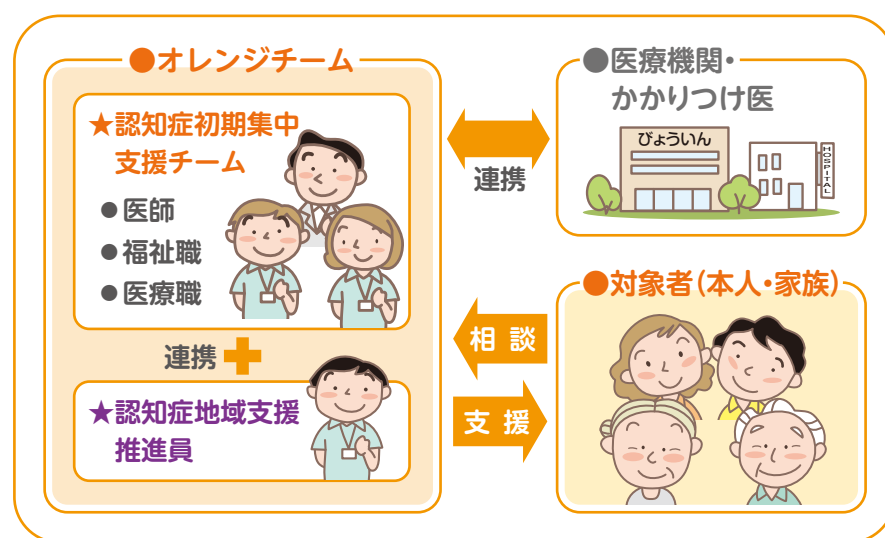
医療と福祉の 専門職チームが スピーディに対応

大阪市では、認知症についての普及啓発、早期診断・早期対応のための体制づくり、認知症を支援するネットワークの核となる認知症サポート医の養成、医療と介護・福祉の連携強化、認知症介護者への支援、認知症の高齢者にやさしい地域づくりなど、認知症の人を支えるためのさまざまな取り組みが進められています。

平成30年度の重点事業のひとつは「認知症初期集中支援推進事業」です。この事業は、認知症の早期発見・早期診断・早期対応に向けた支援を行うため、医療、介護・福祉専門職と認知症診療の経験豊富な医師で構成する「認知症初期集中支援チーム」を各区1か所の地域包括支援センターに設置し、認知症の方やその家族を訪問し初期の適切な支援を行っています。さらに、各区に認知症地域支援推進員を配置し、若年性認知症の方や支援困難症例に対する支援を行うほか、認知症カフェに対する側面的な支援などを行い、地域における認知症高齢者とその家族の支援体制の構築を目指しています。

更に、認知症初期集中支援チームを配置している各区1か所の地域包括支援センターを、認知症施策の推進拠点の役割を担う「認知症強化型地域包

●オレンジチームとは？



括支援センター」と位置付け、地域と連携して認知症高齢者等の早期発見や早期支援につなげるための取り組みを進めています。

認知症サポーター になって地域の理解を 広げよう

認知症の人にやさしいまちづくりのために、気軽にできる支援が「認知症サポーター」になることです。認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解をもって、地域や職域で認知症の人やその家族を手助けする人たちのこと。認知症サポーター養成講座を修了したその日に、オレンジリングが交付されサポーターになれます。市内に約100

か所ある「認知症カフェ」でのボランティアなど認知症サポーターが活躍する場は広がっています。これまでに、認知症サポーターは市内で約18万人が養成され、平成32年度末までに24万人をめざしています。

手軽に認知症について知るツールとして、認知症に関する情報が集約された「大阪市認知症アプリ」(詳しくはP.4)があります。アプリには、認知症に関わる相談窓口や施設、講座やイベント情報などが掲載され、これまで紙媒体やインターネットで探さなければ見られなかった情報が、画像やマップとともにスマートフォンで無料ですぐに入手できます。アプリを活用して認知症への理解が深まることが期待されます。



認知症の人と一緒に作った料理をふるまう

ち いき
▶ **地域ッチン ひまわり**

認知症対応型通所介護「すこやかデイサービスセンター」
統括部長・大阪市認知症介護指導者

森口 洋一さん

日時／月1回、第二火曜日 13時～15時

場所／デイサービス前のテント

主催／認知症対応型通所介護

「すこやかデイサービスセンター アン」

笑いが絶えない軒先の パラダイス

カレーのいい匂いが漂う午後、「すこやかデイサービス アン」の軒先に、月に一度の「地域ッチン」がオープンしました。利用者、家族、他事業所のスタッフ、近所の人、時には向かいの児童デイサービスや隣の喫茶店のお客さんも来ることがあるとか。介護タクシーや車で乗りつけてくる人、あちこちから人が集まり、みるみるうちにテント内は満席。賑やかになりました。

「わあ、懐かしい。元気でしたか？」と手を握り合っている人たち。

「元利用者で他施設に入居された人が遊びに来られたんです」。生活の場が変わっても、「地域ッチン」という誰でも参加できるオープンな場があれば、なじみの人とのつながりは途絶えません。認知症があるとかないとか、関係なく、食べて、しゃべって、最後まで、笑いが絶えませんでした。

「地域ッチン」を始めた理由を聞きました。

「認知症の人にふれあう機会をつく



▲施設に入居した元利用者。生活の場所が変わっても、心のつながりは切れないように。



▲まぶしい笑顔。心から安心している表情です。

り、認知症の人といっしょに作った料理を食べてもらうことで、認知症に対する偏見をなくしたい」と思ったのは、ある時、認知症サポーターが事業所で、認知症の人と一緒に時間を過ごす機会があり、「全然、普通のひと」「問題だなと思える行動にも理由があるんだ」と感想をもらしたからです。「病気の知識だけでなく、ふれ合うことの必要性を強く感じました」と森口さん

気負いなく、家族のように

「地域ッチン」では、認知症の人が買ひ物や調理、配膳を自分たちで行います。「危ないから、包丁持たないで」とは誰もいいません。職員の山下さんは調理の様子をこう話します。

「調理をしたら、大盛り上がりで作っていきます。自分の役割があることが嬉しいんです」「すこやかデイサービス アン」は、利用者にとって大切な居場所。深夜に徘徊して早朝、ここにたどり着いた利用者もいたそうです。

「一つ屋根の下で、毎日のように一緒に過ごしていますし、家族のように接しています。生活の場面での当たり前のことをと一緒に行っています。私の服がほしいと思ったら、利用者さんにひとりの女性の目でみてもらうこともあります」と山下さん。



森口さんの父・孟さんも飲食業のキャリアを活かして「地域ッチン」を手伝っています。「昨年亡くなった私の母に6年前から介護が必要になり、それ以来親父の生活は介護することのみになっていました。ここにくることで新たな役割を持ち、みなさんや地域とつながり、明るくなりました。親父は介護経験者でもあるので、利用者さんの家族がグチをこぼせる存在。その面でも助かっています」

どこよりも相談しやすい窓口

「認知症で包括支援センターに相談するのは、症状が進んでからの場合が多いものです。周囲の目が気になるというのも背景にあるでしょう。私たちの事業所が、気軽に話ができる、身近な窓口になればと思っています。そのためにも、『ここなら気軽に相談できるので』とみずから自然に言える環境をつくっていきます」

「認知症の人でもどんな人でも、何でも話せるのがいいですね。各地域に「地域ッチン」のような場ができれば、認知症になっても自分らしく暮らせると思います」



▲スタッフ同士も家族のような関わりあい。



認知症でも笑顔が集まる場所を目指して

▶ 認知症カフェ「カフェ・コンパレ」

中津社会福祉協議会会長・
介護福祉士

花咲 典之さん

日時／毎週土曜日 10時～12時

場所／中津福祉会館

主催／中津社会福祉協議会



おっさんだから、 気楽に寄れる

大阪市の認知症カフェの多くは、月1回程度の実施です。このようななか、カフェ・コンパレは、毎週土曜日にオープン。丸1年で累計2,000人が利用しています。「最初から、認知症という言葉を出さず、まずは、誰でもくつろげる場所として定着させました。もともと出無精の男性を外に引っ張り出したいという想いがあったので」

スタッフは中高年の男性です。「女性ばかりがいる場所に、男性は入りにくい。スタッフはおっさんに限定しました。店名を『おっさん喫茶』にしようかと思ったのですが、その名前では誰も来ないと止められ(笑)、そのうち誰かが素敵な名前をみつけてくれました」



▲いつのまにか始まる、ハモニカの合奏。構えない感じがいい。

ちなみに「コンパレ」とはイタリア語で「おっさん」の意味だとか。

この日は、尺八奏者による演奏で盛り上がる日。このほか、ウクレレ、ハモニカ、フラダンス、そば打ち教室などさまざまなイベントを行っています。

専門職の同伴で 安心してコーヒーを

認知症カフェといっても、認知症の人だけが来ているわけではありません。認知症の人でも安心してコーヒーが飲めるカフェといったほうがいいでしょう。

「認知症かなと思われる方は、大淀ランチ(総合相談窓口)の職員さんやケアマネさん、包括(支援センター)の職員さんと同伴で利用されています」

外出がおっくうだったけれど、連れ出されてから、その後、カフェに続けてくようになった人もいます。また、「行きたいけど、マンションからここまでの道がわからないとおっちゃんの方もいました。そんなときは迎えに行きます。帰りは『まちともサービス※』を利用しています。一緒に買い物しながら帰ったりされているようです」

ゆるやかな活動のルール

カフェの活動は、焙煎2人、厨房2人な



▲誰でも楽しめるカフェは、ご近所さんの憩いの場です。



▲「地域で役立ちたい」という若者たちも、将来のステップとしてスタッフに。

ど、ある程度、担当が決まっています。スタッフはいつ誰が来ると決まっています。「休みます」の電話も不要。

「みんなの責任感にまかせていると、担当内で調整してくれるんです。やられているのではなく、やりたくて来ているという感じを持っているほうが続けやすいのではないのでしょうか」

コーヒーを淹れるのが苦手で、将棋という得意分野で活動されているスタッフの男性に聞きました。「ここでは、小学生に教えることもあり楽しいです」

認知症のスタッフはまだいません。

「食器を運ぶだけでもいいし、あいさつだけでもいい。できること、やりたいことを手伝ってもらえれば。カフェにくる高齢の男性にはときどき『手伝っていただけませんか?』と声をかけるようにしています」

「来るものは拒まない」がモットー。「行政も、民間も、福祉も、関係ない。地域をよくしようとしている人は、いつでもどうぞ」オープンな姿勢が、いろんな人を引き寄せているようです。

※「まちともサービス」…北区社会福祉協議会が運営している会員制の住民参加型有料在宅福祉サービス。講座を受けたサポート会員が日々のちょっとした困りごとをお手伝いするサービスを提供します。



認知症になっても 安心して暮らせる社会に

大阪市立弘済院附属病院 副病院長／

認知症疾患医療センター長・大阪市福祉局 医務主幹 中西 亜紀さん



医療、介護・福祉の サービスが届かない

認知症になったら、認知症の進行を遅らせて、安定した生活を維持するために、医療や介護・福祉サービスの利用が必須です。ところが、さまざまな事情でそのサービスに繋がっていない人が少なくありません。「認知症初期集中支援チーム」が、平成26年、モデル事業として東淀川区で開始して以来、段階的に全24区にチームを設置し、これまでに約3,000人の支援を行いました。その人たちの多くは、チームの支援を

経て、それぞれに医療や介護サービスを利用し地域で暮らしています。このようなことから、複数の専門家による集中的な自立支援のサポートは、非常に効果的で価値のある取り組みだと考えています。

若年性認知症の気づきや 診断には難しさがある

サービスが届いていない人たちのなかには、65歳未満に発症する「若年性認知症」の人がいます。若いので体調の変化を「過労」「ストレス」など一過性の症状、「うつ」「更年期障がい」と判断されてしまうことも少なくありません。さらに、若年性の場合は現役世代のため、仕事や家事、育児を続けられなくなると経済的な問題、就労支援、家事・育児の問題等が生じ、これらの支援も時に検討しなければなりません。チームが集中的に支援するのは、最長6か月ですが、それ以降も、認知症地域支援推進員が若年性認知症の人を支援していきます。

「あなたらしくいてくださって、いいんですよ」

認知症の人が安心して社会参加できる環境には、周囲の理解が必要です。最近、スーパーのレジで、うまく小銭が出せない高齢者を見かけた時に、「その白いのひとつと茶色いのひとつ、いただいていいですか？」などと店員さんがゆっくり説明している光景を見ると、認知症もだいたい市民権を得てきたのではないかと感じます。

また、認知症の人は、自己決定することや段取りなどを考えることが難しく、答えを求められたり急かされると不安になります。そんなときは「安心してください。あなたらしくしていいんですよ」という意味のメッセージを伝えています。認知症だからといって、何もかもできなくなるわけではありません。ちょっとした配慮やサポートがあれば、その人らしく社会参加ができ、人の役に立て、認知症かどうかは関係なく、人間同士のふれあいを感じることができます。戸惑うのは病気だから。病気の部分をしっかり理解して、どうしたらいいのかを一緒に考えていけばいい。それこそが、認知症の人たちとともに生きる姿勢なのではないかと思っています。

政令都市では初!

認知症の情報を集約した 「大阪市認知症アプリ」

医療・介護のサービス、相談窓口や施設、身近な地域のイベントなど、認知症に特化した市内の情報が満載。認知症で本人や家族だけでなく、支援者向けの情報も掲載されています。居住地域や立場(当事者、当事者家族、支援者など)を登録すれば、必要な情報だけが厳選されて送られます。マップをみて「認知症カフェが、案外近い!」とわかったら、ぜひ足を運んでみてください。



講座案内

●市民向け講座 市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講決定	講 師	内 容	その他
介護実習講座 ステップアップ(応用) テーマ別コース	①6月12日(火) ②6月15日(金) ③6月16日(土) ④6月19日(火) ⑤6月30日(土) いずれも 10:00~13:00	開講日の約1週間前 に受講証をお送りし ます	専門学校講師、訪問指 導員など	入門コースを修了された方がテーマごとに 介護の知識・技術を深めるためのコースで す。受講するテーマは複数選択できます。 ①食事介助 ④排泄 ②衣服交換・シーツ交換 ⑤応急手当 ③移動	定員 20人 各テーマ先着順 希望される方は、お 問合せください 受講料 100円 (資料代) 受講当日に現金で 申し受けます

◆市民向け講座の申込み方法◆

ハガキ・FAX・メールに次の必要事項を記入して、お申し込みください(当センターホームページや電話での申込みも受け付けます)

[必要事項] ①講座名 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥大阪市在住でない場合は、勤務先または学校名と所在地
介護実習講座を申込みの方は⑦介護経験の有無(有の人は年数も記入)

●福祉従事者向け研修 申し込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
キャリアパス対応生涯研修 初任者コース	8月6(月)・30(木)・ 31日(金) 10:00~17:00	市内の福祉関係施設・事業所に勤務する職員	関西福祉科学大学 教授 橋本 有理子 京都西山短期大学 講師 西川 友理	新任職員としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆します	定員 60人 締切 6月18日(月) 受講料 9,000円+ テキスト代
チームリーダーコース	8月22日(水) 9月20(木)・ 26日(水) 10:00~17:00		大阪国際福祉専門学校 教務主任 川東 光子 大阪教育大学 教授 新崎 国広	チームリーダーとしての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆します	定員 50人 締切 7月9日(月) 受講料 9,000円+ テキスト代
【メンタルヘルス研修 一般職員対象】 ストレスマネジメントを学ぶ	7月25日(水) 13:00~16:30		当センター メンタルヘルス相談員 臨床心理士 鈴木 博子	ストレス発生のメカニズム等の基本を学び、援助者がストレスに適切に対処するためのセルフケアの知識を身につけ、対人援助者のモチベーション低下や燃え尽きを予防します	定員 50人 締切 6月26日(火) 受講料 1,500円
組織運営・管理研修 福祉関係施設・事業所のための 労務管理研修	7月24日(火) 7月31日(火) 13:30~17:00		社会保険労務士法人 アイアール 樽谷総合事務所 代表 特定社会保険労務士 樽谷 かず子	・労務管理の必要性 ・労働関係法令の基本的理解 ・多様な雇用形態における労務管理の基礎知識 ・よくある労務管理トラブルを未然に防ぐポイント など	定員 50人 締切 6月19日(火) 受講料 6,000円
コミュニケーション 研修	7月26日(木) 8月23日(木) 10:00~16:30	大阪市内の介護保険施設・事業所等に 従事する方	パフォーマンスアップ コーチ TEAM-EXE (チーム・エグゼ) 代表 ナカムラ トモコ	利用者や職場における人間関係を円滑にすすめられるように、実践的なコミュニケーション能力を身につけることを目指します	定員 各40人 締切 6月25日(月) 受講料 各3,000円
認知症介護研修 基礎研修	8月28日(火) 9:30~17:10		大阪市 認知症介護指導者	認知症介護に携わる者が、その業務を遂行する上で基礎的な知識・技術とそれを実践する際の考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として基礎的なサービス提供を行うことができるようになる講座です	定員 96人 締切 7月27日(金) 受講料 4,000円

※日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

◆福祉従事者向け研修の申込み方法◆当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

上記の会場・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

🌐http://www.wel-osaka.jp

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

福祉の職場紹介 「一緒に働きませんか？」

「福祉の仕事って、どんなことをするんだろう？」

「福祉事業所にはどんな人が働いているんだろう？」

このコーナーでは、福祉のお仕事に興味を持っている人に向けて、実際に福祉事業所で働いている人による「お仕事紹介」の記事を掲載していきます。福祉に携わる「なかま」を増やしていきましょう！

現在、記事を掲載していただける事業所を募集しています。詳しくは、下記までご連絡ください。

大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



認知症介護実践研修のご案内

研修の講師となる指導者を養成します

認知症介護指導者養成研修

認知症介護の実務経験が5年以上で、実践リーダー研修修了者

ケアチームのリーダーを養成します

認知症介護実践リーダー研修

介護の実務経験が概ね5年以上で、実践者研修修了後1年以上

認知症の方やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を習得します

認知症介護実践者研修

介護の実務経験が概ね2年以上の介護職員等

認知症介護の基礎的な知識・技術を習得します

認知症介護基礎研修

新任の介護職員等

大阪市認知症介護実践リーダー研修
(各11日間、年間2回)

第2回 平成31年 1月9日(水)～

大阪市認知症介護実践者研修
(各7日間、年間5回)

第2回 7月19日(木)～

第3回 9月27日(木)～

第4回 10月31日(水)～

第5回 11月27日(火)～

大阪市認知症介護基礎(年間3回)

第2回 8月28日(火)～

第3回 12月6日(木)～

問合せ先／大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

平成30年度 キャラバン・メイト養成研修のご案内

キャラバン・メイトは、地域の住民、学校、職域等を対象に認知症に関する学習会(認知症サポーター養成講座)を開き、講座の講師役となって認知症サポーターの育成を行っていただくボランティアメンバーです。平成30年度のキャラバン・メイト養成研修を次のとおり開催いたします。(受講要件が設けられております)

第1回

7月10日(火) 9時30分～17時15分

第2回(予定)

10月開催

第3回(予定)

平成31年2月開催

【会場】上記いずれも大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室

問合せ先／大阪市キャラバン・メイト事務局

☎06-6765-7273 ☎06-6765-5607 ✉soudan@shakyo-osaka.jp

(社会福祉法人)大阪市社会福祉協議会 地域福祉課 大阪市立社会福祉センター2階「キャラバンメイト」事務局



第60回 大阪市立弘済院附属病院 市民公開講座

テーマ／認知症とライフスタイル

内容／食生活や運動が心身の健康に重要であると同様に、社会に参加し続けることが脳の健康に重要です。人生をどのように過ごすのが「より良く生きる」ことなのかを考え、認知症予防に良いと言われている食事を紹介します。

日時／6月28日(木)午後2時～午後3時
(受付 午後1時30分～)

場所／大阪市立弘済院寿楽館
〒565-0874 吹田市古江台6-2-1
(阪急千里線・大阪モノレール 山田駅より徒歩7分)

講師／大阪市立弘済院附属病院

神経内科部長 金田 大太

栄養部主査 林 睦夫

その他／看護・介護・栄養等の相談・展示コーナー併設

定員／90名(先着順)

受講料／無料

締切／6月25日(月)消印有効

申込方法／電話・ファックス・メール・はがき・病院窓口
「公開講座参加希望」、代表者氏名(ふりがな)・住所・電話番号、参加希望人数を記載してください。
※定員を超えた場合にのみ連絡します。

問合せ先／大阪市立弘済院管理課(担当:松下) ☎06-6871-8013 ☎06-4863-5351 ✉kousaiin-kouza@city.osaka.lg.jp
月曜～金曜(祝日を除く)9:00～17:30

同心会が「研究努力賞」を授与

同心会(会長 右田紀久恵:大阪府立大学名誉教授)では、大阪市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「大阪市社会福祉研究第40号」の掲載論文から、特にその内容が優秀と認められたものに対して、3月5日(月)、大阪市社会福祉研修・情報センターにおいて「研究努力賞」を授与しました。



研究努力賞

◆障がい当事者が望む災害時対応と福祉避難所 ～アンケート調査から現状と課題を考える～

都島区地域自立支援協議会 地域当事者部会

安達 香里・安藤 久美子・宇都宮 葉子・太田 康裕・寺村 肇

福祉・介護専門職の キャリアアップをサポート!

福祉・介護職員の キャリアデザインノート 受講履歴管理手帳

定価 600円(税込)

これ1冊に
受講履歴を
ファイリング。
修了書や研修資料を
まとめて
保存できます!

福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています

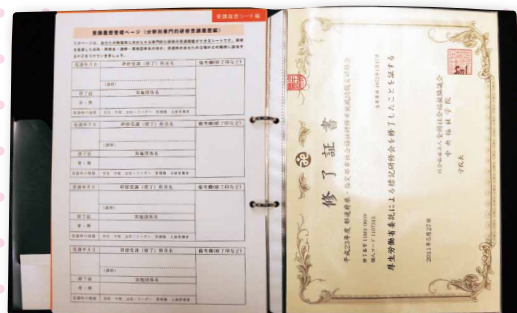
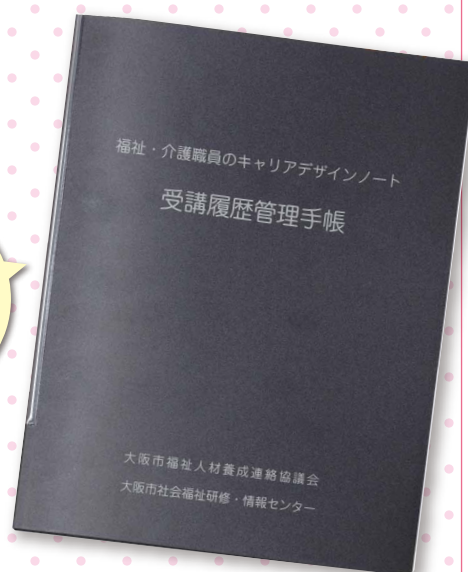
(内容)

- A4判・リングファイル ● 人生カレンダー
- キャリアデザインシート(ワークシート編)2ページ
- 大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
- 受講履歴管理ページ(受講履歴シート編)9ページ
- ビニールファイル4枚

発行者: 大阪市福祉人材養成連絡協議会 大阪市社会福祉研修・情報センター

問合せ・申込み先: ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報



図書紹介

『ちょっとしたことでうまくいく 発達障害の人が上手に暮らすための本』

村上 由美 著 翔泳社 2018年
「時間管理ができない」「無駄遣いが多い」「片付けられない」発達障がいの人向けに、日常生活の「当たり前」のことができるようになる暮らしのアイデアを紹介する。



『上を向いてアルコール 「元アル中」コラムニストの告白』

小田嶋 隆 著 ミシマ社 2018年
「50で人格崩壊、60で死ぬ」。医者から宣告を受けて20年。なぜ、オレだけが脱け出せたのか？アル中だった著者が、自身の体験と脱アル中への道のりを綴る。



『おらおらでひとりいぐも』

若竹 千佐子 著 河出書房新社 2017年

第158回「芥川賞」受賞作。桃子さんというおばあさんが、孤独に暮らす日々の中で、生きてきた道を回顧し、自分の内なる望みに気付いていくさまを、生き生きとした東北弁で綴る。



DVD紹介

『本人の視点で認知症ケアを考える ～クリスティーンと共に～』

シルバーチャンネル 163分(2枚組) 2017年
クリスティーン・ブライデン訪日講演「本人の視点で認知症ケアを考える～クリスティーンと共に」(2017年4月)を収録。認知症当事者の視点から、日々の暮らしや思いについて語り合う。



『きょうの健康 甲状腺・リウマチ』

NHKエンタープライズ 58分 2014年
NHKの健康情報番組「きょうの健康」の内容を再構成したDVD。甲状腺の病気「バセドウ病」「橋本病」、関節リウマチについて解説する。



『八重子のハミング』

MMC 112分 2018年

妻が認知症になり、介護することになった夫。妻の介護生活を振り返り、夫は語りだす。山口県・萩市を舞台に描く、夫婦の純愛と家族の愛情に溢れた12年間の物語。



★「認知症」関連本を紹介★

◎DVD BOOK 認知症の人とともに

沖田 裕子 編著、永田 久美子 監修 クリエイツかもがわ

90分 2016年

認知症当事者のインタビューや、講演が収録されたDVDを見て、グループで対話しあい、認知症の理解を深めるためのテキスト!地域や職場でのグループワークの進め方やワークシートも掲載する。



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています



●図書・約17,000冊 ●DVD・約910本 ●雑誌・約27種類

開室時間／月曜日～土曜日(祝日、年末年始は除く)午前9時30分～午後5時

貸出期間／2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

利用資格／貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



6月は食育月間! 毎月19日は食育の日です

かしこく食べよう! ゲンキをつくろう!

適切な栄養摂取・食事リズムは基本的な生活習慣を身につけることから重要です。毎日朝食を食べる習慣を身につけましょう。



たべやん
食育スタンプ
販売中!

大阪市食育推進キャラクター「たべやん」がスタンプになったで! 「たべやん」で毎日をおいしく楽しく過ごそう!

LINEスタンプショップ内
「たべやん」で検索!

※クリエイターズ欄に表示されます。
次のQRコードから購入できます。

バランスよく食べよう



問合せ▶大阪市健康局健康推進部健康づくり課 ☎06-6208-9961

あなたのお口は健口(けんこう)ですか?

歯周病は、気付かないうちに徐々に進行していくことから「沈黙の病氣」とも言われており、成人期以降の歯を失う一番の原因になっています。また歯周病は、肥満、糖尿病、心疾患、脳梗塞など、全身の健康と関連があることが分かっています。

自分の歯でおいしく食べられることは人生の楽しみのひとつです。歯周病にならないようにするために、定期的に歯周病検診を受けましょう。

大阪市で受けることができる歯周病検診と相談

●歯周病検診(問診・口腔内診査)

対象 40・45・50・55・60・65・70歳
(昭和23・28・33・38・43・48・53年の1/1～12/31生まれ)の大阪市民

費用 500円(生活保護世帯・市民税非課税世帯の方は無料)

場所 市内取扱歯科医療機関(要予約)

●歯科健康相談(個別相談)

対象 大阪市民

費用 無料

場所 各区保健福祉センター



大阪市では歯周病検診以外の検診も実施しています

種別 胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、骨粗しょう症検診

対象等 対象者や費用等がそれぞれ異なりますので、詳しい内容は下記までお問い合わせください。

問合せ▶大阪市健康局健康づくり課(成人保健グループ) ☎06-6208-9943

特定非営利活動法人 自助具の部屋

ボランティアグループ

ひとりひとりに合った自助具で快適な生活をサポート

私たちは、自助具の普及を目的として、障がいの程度に合わせた自助具を製作したり、自助具や福祉機器に関する情報の提供ならびに、いろいろな相談に応じています。同じ障がいであっても、その現れ方や動作はひとりひとり異なるため、市販されている自助具や補助具は、そのままでは使いづらいことがあります。ボランティアグループ「NPO自助具の部屋」では、自助具を必要とする方々の様々な相談に応じ、その人に合った自助具を製作し、提供しています。

あなたも自助具づくりに参加しませんか

一緒に自助具づくりをする仲間を募集しています。年齢、資格は一切関係ありません。趣味や特技(日曜大工が趣味、手芸が得意、プラモデルづくりが好き)など、あなたにできることを活かして、ボランティア活動に参加してください。

【お問い合わせ】NPO自助具の部屋

☎/FAX 06-6777-6844

✉info@jijyogunpo.com

〒543-0072

大阪市天王寺区生玉町5番33号

大阪府障がい者社会参加促進センター2階

NPO自助具の部屋

<https://sites.google.com/jijyogunpo.com/npojijyogu/>

健康生活 応援グッズ

立ち上がりを安全に

中
重
度
者
対
応
可
能
な
膝
当
て
シ
リ
ー
ズ



●たちあがりⅡひざたち

「前受け手すり」と「膝当て」により、利用者の保有能力を活用でき、重度化予防につなげることができます。コンパクト設計により小柄な方にも利用しやすい、狭い場所にも設置が可能になりました。

軽
量
で
コ
ン
パ
ク
ト
!
自
由
に
、
手
軽
に
、
ポ
ジ
シ
ョ
ン
チェ
ンジ



●かるタッチ

本体が軽く、手軽にポジションチェンジができるので立ち上がりやすい姿勢で使用が可能です。また、手置ききに手や肘を置くことで姿勢が安定し、立ち上がりやすくなっています。

大
き
な
平
面
で
使
い
や
す
い
ア
ーム
サ
ポ
ー
ト
手
すり



●メンディ

面だから手、腕、肘で支えやすく、介護度が高い人にも使いやすく、介護する人にもやさしいタイプです。向き・高さが調整できるので用途にあわせて使いやすく、様々な場所で使用可能です。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 FAX 06-6762-7894

http://kansil.jp

民生委員・児童委員への感謝・応援のメッセージをお寄せください

大阪市は、大阪府民生委員(方面委員)制度創設100周年を迎える本年に、民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動を広く知っていただくため、さまざまな取り組みを実施しています。

その一環として、福祉職や一般の方々から、民生委員・児童委員及び主任児童委員にお世話になったエピソードや応援メッセージを募集します。

応募いただいたエピソードやメッセージは100周年記念式典等でご紹介する予定です。



1 応募資格

大阪市の民生委員・児童委員及び主任児童委員と関わったことのある、大阪市内居住者、在勤者、在学者

2 応募方法

メール、FAX、郵送で「6 担当」へご提出ください。

【留意事項】

- ・応募書類や文字数の制限はありませんので、メール本文へ入力の上送信いただくか、任意の用紙等に記入のうえ、FAXまたは郵便でご提出ください。
- ・後日、応募者特典をプレゼントしますので、自宅住所、氏名を明記してください。応募者特典の郵送手続以外に、いただいた個人情報を使用することはありません。
- ・匿名での応募も可能です。(応募者特典はありません)

3 応募者特典

先着500名様に民生委員PRグッズ(クリアファイル、ピンバッジ、シール等)をプレゼントします。

4 応募期限

平成30年7月31日(火曜日)まで

※メール及びFAXは24時00分送信分まで有効

※郵送は当日の消印有効

5 著作権等

- ・応募いただいたメッセージ等は返却しません。
- ・応募いただいたメッセージ等の著作権は大阪市に帰属します。
- ・応募いただいたメッセージ等は大阪市が行う広報に使用することがあります。
- ・応募者多数等の理由でご紹介できない場合や、内容の一部を割愛、編集する場合があります。
- ・応募にかかる費用は全て応募者の負担とします。

6 担当

大阪市福祉局生活福祉部地域福祉課

民生委員・児童委員担当

所在地 ▶ 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20

☎06-6208-7970 FAX06-6202-0990

✉tiikifukushi@city.osaka.lg.jp

カタチにするプロ

ドローンによる空撮行っています!

パンフレットやカタログなど、作りたいものがカタチにならず困っていませんか?
当社なら企画から取材・撮影・デザイン・印刷・納品にいたるまで、各専門スタッフが、お客様のイメージをトータルでカタチにします。

※詳しくは下記までご連絡ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F
TEL:(06)6362-1511(代) FAX:(06)6362-1510 E-mail:info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

大阪市社会福祉研修・情報センター

福祉職員のメンタルヘルス相談

ひとりで悩まずに
まずはお電話を



相談・予約電話

ハローサンキュー

06-4392-8639

✉k-kanri@shakyo-osaka.jp

予約方法 上記番号へお電話ください。

平日 9時30分~21時 土・日 9時30分~17時

お気軽にご相談ください。

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、対人関係がうまくいかない...など、仕事上のストレスなどから生じる**悩みの相談窓口**です。
ご本人だけでなく、同じ職場の上司や同僚の方から相談いただくこともできます。

●対象

大阪市内在住又は市内にお勤めしている福祉職員

●相談方法

電話または来所(まずは、ご予約ください)

●相談日時

毎週土曜日と第1・3水曜日

土曜日の場合は、祝日も実施(年末年始は休み)

いずれも午前9時30分~午後4時

●相談員

臨床心理士

●相談料

相談無料

秘密厳守

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・ 情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)
図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)
休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項 目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	午前9時～午後9時(土・日曜日は午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	午前9時～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

1 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6か月分掲載。

ウェルおおさか

2 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、電話や窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

FAX 06-4392-8206

※FAXでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午 前	午 後	夜 間	昼 夜 間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

(単位:円)

交通／ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

大阪シティバス
「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線
「今宮」駅から徒歩約9分
地下鉄・四つ橋線・御堂筋線
「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分
「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号
設置主体／大阪市
運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
電話／☎06-4392-8200(代表)
ファックス／FAX 06-4392-8206
U R L／http://www.wel-osaka.jp/

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶大阪市社会福祉研修・情報センター
☎06-4392-8201 FAX 06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】女性をめぐる人権

女性の生き方、35億。

と かね まさこ
兜金 雅子さん(平成29年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 一般の部 大阪市長賞)